

八王子市館清掃工場解体工事の進捗状況について 平成28年 6月

工場棟内の除染工事が完了しました

4月から開始した工場棟内での除染工事が完了しました。完了時は市監督員による立会確認を実施し、焼却設備等に付着していた汚染物が確実に除去されていることを確認しました。



・ 焼却炉内部

除染前



除染後



・ 電気集じん機内部

除染前



除染後



仮設排水処理プラントを撤去しました

工場棟の除染工事完了に伴い、洗浄排水の処理で使用した仮設排水処理プラントを撤去しました。プラント撤去前には、排水処理によって処理水槽内に沈殿・堆積した汚泥と、プラント内の水槽に残っていた処理水をバキュームカーにて全て吸引し、廃棄物として適正に搬出処分しました。



ワークステーションが煙突頂部に到達しました

煙突の除染作業や解体作業の作業用ステージとして使用するワークステーション（油圧昇降式作業ステージ）が煙突頂部に到達しました。このワークステーションは内筒解体が完了する9月頃までは煙突頂部にある予定で、その後煙突外筒解体の進捗に合わせて地上まで下りてくる予定です。



煙突頂部にワークステーションが到達した状況です。



煙突解体時のダイオキシン類対策仮設工事を実施しました

煙突の内面についても工場棟の内部設備と同様に、ダイオキシン類による汚染が確認されているので、ダイオキシン類対策の仮設工事が必要です。除染及び内筒解体作業時にダイオキシン類が周辺に飛散することが無いよう、負圧集塵機を配置し、煙突下部と上部にシート等で密閉養生した管理区域を設置して、煙突内部全体を負圧状態にできるようにしました。

・ 下部管理区域



・ 上部管理区域



・ 負圧集塵機



また、工場棟のときと同様にクリーンルームを設置しました。ここで作業用の保護衣、保護具を装着し、エアシャワー室を通過して、除染・解体の作業場へ出入りします。

・ 下部クリーンルーム



・ 下部エアシャワー



・ 上部エアシャワー



八王子市館清掃工場解体工事の進捗状況について 平成28年 7月

工場棟内部解体用の大型前室を設置しました

除染工事が完了し、工場棟内にある焼却炉や排煙処理設備等の内部機器類の解体を行っています。内部機器類の解体作業は、工場棟建物の外壁や屋根を残したまま密閉負圧状態を維持して実施しますので、解体用重機が出入りする際や廃材を搬出する際にも密閉状態が維持できるよう、工場棟の東面に大型前室（仮設の大型テント）を設置しました。

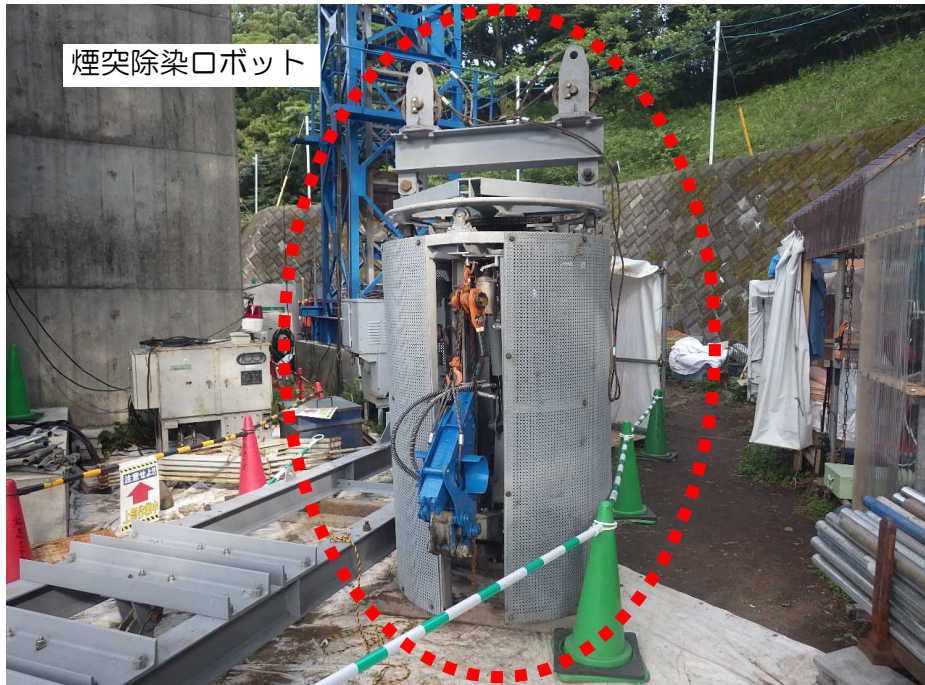


大型前室の出入口部には電動シートシャッターを設置して、重機・車両が出入りする際には速やかに開閉動作ができるようにしています。



煙突の除染作業を実施しました

煙突はダイオキシン類対策の仮設工が完了した後、内筒内面の除染作業を実施しました。煙突の除染作業には煙突除染ロボットを使用し、内筒内面に付着したばいじん等を高圧水で洗浄して除去しました。



除染の作業手順としては、まず煙突除染ロボットを煙突頂部の上部管理区域内から吊り下ろす形で内筒内に入れました。このロボットはウインチの操作で上下方向に移動させたり、円筒部分のみを360°回転させることができるようになっています。



除染ロボットの操作は、地上に設置した操作室で遠隔操作しました。ロボットに設置されたカメラの画像をモニターディスプレイに映し出し、オペレーターがこの画面を見ながらリモコン操作で煙突の内面洗浄を行いました。



下の写真は、モニターディスプレイに映し出された画像です。ロボット下部の洗浄ノズルから、30Mpaの高圧水を内筒内面に噴射して洗浄している様子です。



除染作業の状況を、館清掃工場運営協議会の委員の方々が見学されました。



除染作業で発生した汚水は、水中ポンプで回収して周囲をテントで密閉した水槽に保管します。汚水は漏洩等が無いよう保管し、廃棄物として適正に搬出・処分します。



除染作業完了時には、市監督員による立会い確認を実施し、煙突内に付着していた汚染物が確実に除去されていることを確認しました。

